

【ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について(4月分)】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 東邦化研株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	4月22日	不検出 (14)	不検出 (22)	56	56
	固化灰	4月22日	不検出 (18)	160	420	580
	溶融スラグ	4月22日	不検出 (9.2)	不検出 (8.3)	不検出 (11)	不検出
東部環境 センター	焼却灰	4月22日	不検出 (6.8)	14	不検出 (16)	14
	飛灰	4月22日	不検出 (25)	97	250	347
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	4月22日	不検出 (11)	不検出 (13)	24	24
	飛灰	4月22日	不検出 (15)	75	200	275
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	4月22日	不検出 (9.9)	不検出 (14)	45	45
	固化灰	4月22日	不検出 (15)	44	100	144
岩槻環境 センター	焼却灰	4月22日	不検出 (11)	19	67	86
	固化灰	4月22日	不検出 (15)	58	170	228

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ: 焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について(4月分)】

・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)

・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器

・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位:  $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	4月22日	1m	0.06	0.06	0.06	0.05	0.06
東部環境 センター	4月22日	1m	0.07	0.07	0.06	0.08	0.08
クリーン センター 大崎	4月22日	1m	0.08	0.06	0.06	0.08	0.08
岩槻環境 センター	4月22日	1m	0.05	0.08	0.06	0.06	0.06

※バックグラウンド: 焼却設備から十分離れた敷地境界

【ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について(5月分)】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8.000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 東邦化研株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	5月13日	不検出 (15)	不検出 (20)	54	54
	固化灰	5月13日	不検出 (16)	65	190	255
	熔融スラグ	5月13日	不検出 (7.8)	不検出 (11)	不検出 (12)	不検出
東部環境 センター	焼却灰	5月13日	不検出 (9.1)	16	24	40
	飛灰	5月13日	不検出 (27)	140	310	450
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	5月13日	不検出 (15)	不検出 (30)	36	36
	飛灰	5月13日	不検出 (35)	89	320	409
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	5月13日	不検出 (14)	不検出 (15)	30	30
	固化灰	5月13日	不検出 (16)	47	120	167
岩槻環境 センター	焼却灰	5月13日	不検出 (15)	32	95	127
	固化灰	5月13日	不検出 (16)	67	180	247

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 熔融スラグ: 焼却灰を高温で熔融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について(5月分)】

・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)

・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器

・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位:  $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	5月13日	1m	0.05	0.06	0.06	0.05	0.05
東部環境 センター	5月13日	1m	0.07	0.07	0.06	0.08	0.08
クリーン センター 大崎	5月13日	1m	0.05	0.07	0.06	0.09	0.05
岩槻環境 センター	5月13日	1m	0.06	0.08	0.05	0.06	0.06

※バックグラウンド: 焼却設備から十分離れた敷地境界

【ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について(6月分)】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 東邦化研株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	6月10日	不検出 (14)	24	52	76
	固化灰	6月10日	不検出 (14)	97	280	377
	溶融スラグ	6月10日	不検出 (9.6)	不検出 (11)	不検出 (12)	不検出
東部環境 センター	焼却灰	6月10日	不検出 (12)	不検出 (14)	不検出 (14)	不検出
	飛灰	6月10日	不検出 (27)	40	180	220
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	6月10日	不検出 (7.6)	不検出 (16)	不検出 (13)	不検出
	飛灰	6月10日	不検出 (24)	70	170	240
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	6月10日	不検出 (13)	不検出 (14)	30	30
	固化灰	6月10日	不検出 (12)	28	69	97
岩槻環境 センター	焼却灰	6月10日	不検出 (12)	不検出 (16)	27	27
	固化灰	6月10日	不検出 (15)	42	130	172

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ: 焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について(6月分)】

- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)
- ・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位:  $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	6月10日	1m	0.05	0.05	0.05	0.05	0.04
東部環境 センター	6月10日	1m	0.07	0.07	0.06	0.07	0.07
クリーン センター 大崎	6月10日	1m	0.07	0.05	0.06	0.06	0.07
岩槻環境 センター	6月10日	1m	0.05	0.07	0.05	0.06	0.05

※バックグラウンド: 焼却設備から十分離れた敷地境界

【ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について(7月分)】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 東邦化研株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	7月8日	不検出 (10)	不検出 (14)	37	37
	固化灰	7月8日	不検出 (14)	61	180	241
	溶融スラグ	7月8日	不検出 (9.1)	不検出 (11)	14	14
東部環境 センター	焼却灰	7月8日	不検出 (13)	不検出 (19)	37	37
	飛灰	7月8日	不検出 (27)	99	280	379
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	7月8日	不検出 (12)	不検出 (15)	33	33
	飛灰	7月8日	不検出 (20)	59	180	239
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	7月8日	不検出 (12)	不検出 (13)	31	31
	固化灰	7月8日	不検出 (16)	39	100	139
岩槻環境 センター	焼却灰	7月8日	不検出 (9.9)	不検出 (15)	56	56
	固化灰	7月8日	不検出 (12)	34	99	133

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ: 焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について(7月分)】

・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)

・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器

・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位:  $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	7月8日	1m	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
東部環境 センター	7月8日	1m	0.07	0.07	0.06	0.08	0.08
クリーン センター 大崎	7月8日	1m	0.07	0.06	0.06	0.09	0.07
岩槻環境 センター	7月8日	1m	0.05	0.08	0.05	0.06	0.06

※バックグラウンド: 焼却設備から十分離れた敷地境界



【ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について(8月分)】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 東邦化研株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	8月5日	不検出 (15)	16	35	51
	固化灰	8月5日	不検出 (16)	41	150	191
	熔融スラグ	8月5日	不検出 (10)	不検出 (8.9)	不検出 (9.6)	不検出
東部環境 センター	焼却灰	8月5日	不検出 (9.5)	不検出 (14)	35	35
	飛灰	8月5日	不検出 (23)	94	250	344
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	8月5日	不検出 (12)	12	24	36
	飛灰	8月5日	不検出 (25)	57	180	237
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	8月5日	不検出 (9.4)	13	24	37
	固化灰	8月5日	不検出 (11)	31	120	151
岩槻環境 センター	焼却灰	8月5日	不検出 (11)	27	52	79
	固化灰	8月5日	不検出 (14)	39	110	149

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 熔融スラグ: 焼却灰を高温で熔融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について(8月分)】

・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)

・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器

・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位:  $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	8月5日	1m	0.06	0.05	0.06	0.05	0.05
東部環境 センター	8月5日	1m	0.07	0.06	0.06	0.07	0.07
クリーン センター 大崎	8月5日	1m	0.07	0.06	0.06	0.07	0.07
岩槻環境 センター	8月5日	1m	0.05	0.08	0.06	0.06	0.06

※バックグラウンド: 焼却設備から十分離れた敷地境界

【ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について(9月分)】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8.000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 東邦化研株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	9月9日	不検出 (15)	不検出 (22)	50	50
	固化灰	9月9日	不検出 (17)	110	360	470
	溶融スラグ	9月9日	不検出 (9.9)	不検出 (8.2)	不検出 (13)	不検出
東部環境 センター	焼却灰	9月9日	不検出 (11)	不検出 (14)	15	15
	飛灰	9月9日	不検出 (26)	33	180	213
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	9月9日	不検出 (11)	不検出 (18)	21	21
	飛灰	9月9日	不検出 (25)	53	140	193
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	9月9日	不検出 (12)	不検出 (12)	41	41
	固化灰	9月9日	不検出 (12)	29	83	112
岩槻環境 センター	焼却灰	9月9日	不検出 (13)	21	65	86
	固化灰	9月9日	不検出 (16)	45	120	165

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ: 焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について(9月分)】

・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)

・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器

・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位:  $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	9月9日	1m	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05
東部環境 センター	9月9日	1m	0.07	0.07	0.06	0.07	0.07
クリーン センター 大崎	9月9日	1m	0.06	0.05	0.06	0.08	0.06
岩槻環境 センター	9月9日	1m	0.05	0.08	0.06	0.06	0.05

※バックグラウンド: 焼却設備から十分離れた敷地境界

【ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について(10月分)】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8.000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 東邦化研株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	10月14日	不検出 (19)	不検出 (28)	64	64
	固化灰	10月14日	不検出 (19)	140	570	710
	溶融スラグ	10月14日	不検出 (9.5)	不検出 (14)	不検出 (12)	不検出
東部環境 センター	焼却灰	10月14日	不検出 (11)	不検出 (16)	28	28
	飛灰	10月14日	不検出 (26)	72	290	362
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	10月14日	不検出 (14)	不検出 (17)	不検出 (21)	不検出
	飛灰	10月14日	不検出 (26)	72	160	232
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	10月14日	不検出 (12)	不検出 (23)	33	33
	固化灰	10月14日	不検出 (11)	24	110	134
岩槻環境 センター	焼却灰	10月14日	不検出 (11)	不検出 (14)	55	55
	固化灰	10月14日	不検出 (15)	30	120	150

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ: 焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について(10月分)】

- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)
- ・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位:  $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	10月14日	1m	0.06	0.06	0.05	0.05	0.05
東部環境 センター	10月14日	1m	0.07	0.06	0.05	0.07	0.07
クリーン センター 大崎	10月14日	1m	0.06	0.06	0.06	0.07	0.06
岩槻環境 センター	10月14日	1m	0.06	0.07	0.05	0.06	0.06

※バックグラウンド: 焼却設備から十分離れた敷地境界

【ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について(11月分)】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8.000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 東邦化研株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	11月11日	不検出 (12)	不検出 (14)	33	33
	固化灰	11月11日	不検出 (19)	130	450	580
	熔融スラグ	11月11日	不検出 (9.6)	不検出 (9.6)	不検出 (7.9)	不検出
東部環境 センター	焼却灰	11月11日	不検出 (8.5)	不検出 (12)	16	16
	飛灰	11月11日	不検出 (22)	56	200	256
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	11月11日	不検出 (11)	不検出 (16)	26	26
	飛灰	11月11日	不検出 (29)	70	140	210
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	11月11日	不検出 (12)	不検出 (17)	34	34
	固化灰	11月11日	不検出 (12)	不検出 (19)	86	86
岩槻環境 センター	焼却灰	11月11日	不検出 (9.7)	不検出 (14)	40	40
	固化灰	11月11日	不検出 (13)	41	130	171

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 熔融スラグ: 焼却灰を高温で熔融した後、水で冷却したガラス質のもの

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について(11月分)】

- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)
- ・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位:  $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	11月11日	1m	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
東部環境 センター	11月11日	1m	0.08	0.07	0.06	0.08	0.08
クリーン センター 大崎	11月11日	1m	0.06	0.06	0.06	0.07	0.06
岩槻環境 センター	11月11日	1m	0.05	0.08	0.05	0.06	0.05

※バックグラウンド: 焼却設備から十分離れた敷地境界



【ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について(12月分)】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8.000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 東邦化研株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	セシウム 合計
西部環境 センター	焼却灰	12月9日	不検出 (12)	不検出 (16)	45	45
	固化灰	12月9日	不検出 (16)	60	200	260
	溶融スラグ	12月9日	不検出 (11)	不検出 (14)	不検出 (9.2)	不検出
東部環境 センター	焼却灰	12月9日	不検出 (12)	不検出 (14)	26	26
	飛灰	12月9日	不検出 (23)	77	210	287
クリーンセンター大崎 第一工場	焼却灰	12月25日	不検出 (12)	不検出 (15)	13	13
	飛灰	12月25日	不検出 (17)	40	150	190
クリーンセンター大崎 第二工場	焼却灰	12月9日	不検出 (8.8)	不検出 (19)	25	25
	固化灰	12月9日	不検出 (12)	22	67	89
岩槻環境 センター	焼却灰	12月9日	不検出 (8.7)	不検出 (12)	41	41
	固化灰	12月9日	不検出 (15)	21	120	141

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 溶融スラグ: 焼却灰を高温で溶融した後、水で冷却したガラス質のもの

※クリーンセンター大崎第一工場の採取日は、新クリーンセンター試験稼働により焼却炉を停止している期間がありましたので、他のセンターと異なります。

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について(12月分)】

- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)
- ・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位:  $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	12月9日	1m	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
東部環境 センター	12月9日	1m	0.08	0.07	0.06	0.08	0.08
クリーン センター 大崎	12月25日	1m	0.06	0.06	0.07	0.07	0.06
岩槻環境 センター	12月9日	1m	0.05	0.08	0.05	0.06	0.06

※バックグラウンド: 焼却設備から十分離れた敷地境界

【ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について(1月分)】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 東邦化研株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素	セシウム	セシウム	セシウム
			131	134	137	合計
西部環境センター	焼却灰	1月13日	不検出 (13)	不検出 (21)	15	15
	固化灰	1月13日	不検出 (8.9)	不検出 (18)	34	34
	熔融スラグ	1月13日	不検出 (8.7)	不検出 (11)	不検出 (11)	不検出
東部環境センター	焼却灰	1月13日	不検出 (9.8)	不検出 (9.7)	不検出 (14)	不検出
	飛灰	1月13日	不検出 (19)	39	200	239
クリーンセンター大崎第一工場	焼却灰	1月28日	不検出 (9.3)	不検出 (15)	25	25
	飛灰	1月28日	不検出 (20)	37	130	167
クリーンセンター大崎第二工場	焼却灰	1月13日	不検出 (9.1)	不検出 (9.4)	15	15
	固化灰	1月13日	不検出 (12)	21	77	98
岩槻環境センター	焼却灰	1月13日	不検出 (11)	不検出 (18)	23	23
	固化灰	1月13日	不検出 (14)	32	130	162

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 熔融スラグ: 焼却灰を高温で熔融した後、水で冷却したガラス質のもの

※クリーンセンター大崎第一工場の採取日は、新クリーンセンター試験稼働により焼却炉を停止している期間がありましたので、他のセンターと異なります。

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について(1月分)】

・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)

・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器

・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位:  $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	1月13日	1m	0.05	0.05	0.05	0.05	0.04
東部環境 センター	1月13日	1m	0.08	0.06	0.06	0.08	0.08
クリーン センター 大崎	1月13日	1m	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
岩槻環境 センター	1月13日	1m	0.05	0.07	0.06	0.06	0.05

※バックグラウンド: 焼却設備から十分離れた敷地境界

【ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について(2月分)】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 東邦化研株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素	セシウム	セシウム	セシウム
			131	134	137	合計
西部環境センター	焼却灰	2月10日	不検出 (12)	不検出 (21)	93	93
	固化灰	2月10日	不検出 (14)	82	280	362
	熔融スラグ	2月10日	不検出 (10)	不検出 (11)	不検出 (13)	不検出
東部環境センター	焼却灰	2月10日	不検出 (9.1)	不検出 (14)	19	19
	飛灰	2月10日	不検出 (18)	28	110	138
クリーンセンター大崎第一工場	焼却灰	2月10日	不検出 (9.6)	不検出 (15)	不検出 (13)	不検出
	飛灰	2月10日	不検出 (17)	22	99	121
クリーンセンター大崎第二工場	焼却灰	2月20日	不検出 (8.0)	不検出 (14)	18	18
	固化灰	2月20日	不検出 (13)	21	67	88
岩槻環境センター	焼却灰	-	-	-	-	-
	固化灰	-	-	-	-	-

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 熔融スラグ: 焼却灰を高温で熔融した後、水で冷却したガラス質のもの

※クリーンセンター大崎第二工場の採取日は、新クリーンセンター試験稼働により焼却炉の運転調整を行っている期間がありましたので、他のセンターと異なります。

※岩槻環境センターは平成27年1月に運転を停止し、灰の発生がありませんでしたので放射能濃度測定は行っておりません。

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について(2月分)】

・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)

・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器

・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位:  $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	2月10日	1m	0.05	0.05	0.04	0.05	0.04
東部環境 センター	2月10日	1m	0.07	0.06	0.05	0.08	0.08
クリーン センター 大崎	2月10日	1m	0.06	0.06	0.07	0.08	0.06
岩槻環境 センター	2月10日	1m	0.05	0.07	0.06	0.06	0.05

※バックグラウンド: 焼却設備から十分離れた敷地境界

【ごみ焼却施設における焼却灰等の放射能濃度測定結果について(3月分)】

すべての測定値で、国が示す暫定基準値8,000Bq/kg以下の値でした。

- ・測定機関 東邦化研株式会社
- ・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン（平成23年12月 環境省）
- ・測定器名 ゲルマニウム半導体検出器

焼却灰等の放射能濃度測定結果

単位: Bq/kg

施設名	検体	採取日	ヨウ素	セシウム	セシウム	セシウム
			131	134	137	合計
西部環境センター	焼却灰	3月10日	不検出 (17)	不検出 (21)	33	33
	固化灰	3月10日	不検出 (11)	21	69	90
	熔融スラグ	3月10日	不検出 (9.4)	不検出 (9.6)	不検出 (12)	不検出
東部環境センター	焼却灰	3月10日	不検出 (11)	不検出 (17)	14	14
	飛灰	3月10日	不検出 (27)	不検出 (40)	180	180
クリーンセンター大崎第一工場	焼却灰	3月2日	不検出 (12)	不検出 (14)	不検出 (16)	不検出
	飛灰	3月2日	不検出 (18)	25	120	145
クリーンセンター大崎第二工場	焼却灰	3月10日	不検出 (9.9)	不検出 (14)	不検出 (14)	不検出
	固化灰	3月10日	不検出 (14)	不検出 (20)	71	71
岩槻環境センター	焼却灰	-	-	-	-	-
	固化灰	-	-	-	-	-

※「不検出」とは、検出限界値未満を表します。また、()内は検出下限値を表します。

- 焼却灰: 燃やしたごみの燃えがら
- 飛灰: ろ過式集じん器等で捕集した排ガスに含まれているダスト(ばいじん)
- 固化灰: 飛灰を薬剤処理し、固化したもの
- 熔融スラグ: 焼却灰を高温で熔融した後、水で冷却したガラス質のもの

※クリーンセンター大崎第一工場の採取日は、新クリーンセンター試験稼働により焼却炉の運転調整を行っている期間がありましたので、他のセンターと異なります。

※岩槻環境センターは平成27年1月に運転を停止し、灰の発生がありませんでしたので放射能濃度測定は行っておりません。

【ごみ焼却施設における空間放射線量測定結果について(3月分)】

・測定方法 放射能濃度等測定方法ガイドライン (平成23年12月 環境省)

・測定器名 CsI(Tl)シンチレーション検出器

・測定箇所 ごみ焼却施設の敷地境界の東西南北及びバックグラウンド

単位:  $\mu\text{Sv/h}$

施設名	測定日	測定高	敷地境界				バック グラウンド
			東	西	南	北	
西部環境 センター	3月10日	1m	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
東部環境 センター	3月10日	1m	0.07	0.06	0.06	0.07	0.07
クリーン センター 大崎	3月10日	1m	0.06	0.06	0.08	0.08	0.06
岩槻環境 センター	3月10日	1m	0.05	0.07	0.06	0.06	0.06

※バックグラウンド: 焼却設備から十分離れた敷地境界